

日進市 防災対策マップ



大規模災害に備えて

近年、南海トラフ地震の発生が懸念され、ゲリラ豪雨や台風などによる風水害や土砂災害も各地で発生しています。

このような災害による被害を最小限にするため、市民一人ひとりが災害に備えるとともに、いざという時に適切な行動がとれるよう、『日進市防災対策マップ』を作成しました。



日進市の四季の風景

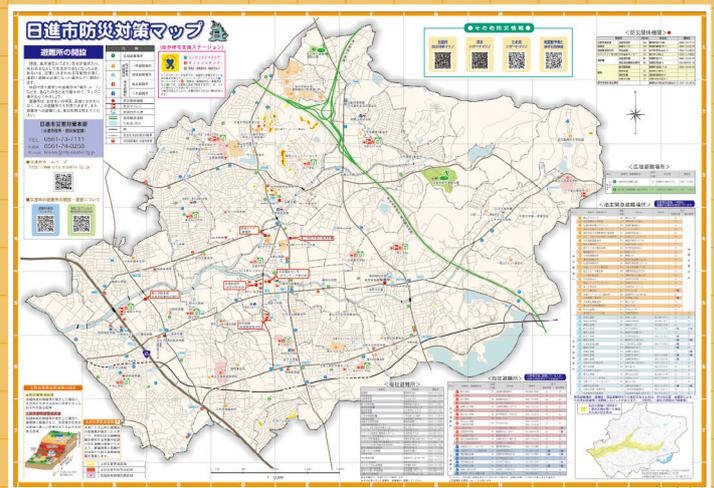
マップの構成

おもて

うら



防災関係機関、避難場所等の位置情報が掲載されていますが、ここにわが家の最寄りの避難所や避難ルート等を書き込んでおくと便利でしょう。



災害への備え⇒災害情報の入手⇒平成26年5月に愛知県が公表した南海トラフ地震の震度予測情報⇒災害発生時の行動等の順に掲載しています。

災害に備えよう(1)



災害への備え



災害は、基本的にいつ・どこで起こるかわかりません。いざというときに慌てないように、**実際に災害が発生したときのことを想定して、日頃から備えておきましょう。**

■ 地震に備える

日進市では地震発生による津波被害の心配はありませんが、経験したことの無い激しい揺れに見舞われる可能性があります。

家の内外の安全対策

- 高い場所に物を置かない
- 家具配置の配慮・転倒防止
- 飛散防止フィルムを貼る
- 分電盤タイプ(後付型)
- ブロック塀の点検
- 寝室に懐中電灯やスリッパを置く
- 安全に避難できるように 出入り口や通路に物を置かない
- 感震ブレーカーの設置

【地震に関する主な補助事業】

お住まいの耐震診断や感震ブレーカー設置補助など地震発生に備えた様々な補助事業を行っています。詳細はQRコードをご覧ください。

家具転倒防止事業



感震ブレーカー設置事業



木造住宅の無料耐震診断・耐震改修費補助事業



■ 風水害・土砂災害に備える

大雨や台風などによって起こる風水害は、事前に情報を得ることで、襲来時期や規模をある程度予測することができます。

- 落ちてきそうな木の枝を伐る
- 植木鉢など屋内へ移す
- 雨どいや排水溝のつまりを取り除く
- 気象情報に注意し早めに避難の準備
- ブロック塀にひび割れや破損箇所はないか点検
- 浸水や土砂の流出に備え、土のうを準備
- 断水に備え湯船に満タンの水を貯める
- 雨戸やシャッターをおろしカーテンを閉める、飛散防止フィルムを貼る

■ 災害時要援護者地域支援制度

大規模な災害が発生した時、自力での避難が困難な人やひとり暮らしの高齢者が、地域の中で安否確認、避難誘導等の支援を受けることができるようにする、地域の災害対策制度です。



災害時要援護者の範囲

- ① 65歳以上のひとり暮らしの人
- ② 65歳以上のみの世帯の人
- ③ 要介護状態区分3から5の人 ※在宅の人が対象です。
- ④ 第一種身体障がい者
- ⑤ 療育手帳を持っている人
- ⑥ その他避難に支援が必要な人

登録方法:登録申請書に必要事項を記入の上、地域福祉課、または防災安全課に提出

■ あなたの手助けが必要です

大規模な災害が発生すると、市内各地でけが人が出たり、家屋が倒壊あるいは浸水したり、火災が発生する可能性があります。自らの安全を確保し、隣近所で声をかけ合った後、できれば困っている人たちを周りの人たちとともに助け合いましょう。

また、日頃からコミュニケーションを大切にして、地域の防災訓練に積極的に参加しましょう。



災害に備えよう (2)



備蓄と非常持出品を
用意しておきましょう



地震等の大規模な災害や、感染症の発生時には、食料供給の減少や食料品・生活用品の需要が一時的に集中し、品薄状態や売り切れ状態になるおそれがあります。電気、ガス、水道が止まることを想定して、家庭での備蓄を行いましょ。飲料水や食料は、一週間程度(最低でも3日分)の準備はしておきましょう。

家庭にストックしておく災害用品例

- | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> ガムテープ | <input type="checkbox"/> 家族の写真 |
| <input type="checkbox"/> 食料品 | <input type="checkbox"/> ポリタンク | <input type="checkbox"/> 下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> オムツ |
| <input type="checkbox"/> カセットボンベ | <input type="checkbox"/> ごみ袋・ポリ袋 | <input type="checkbox"/> ミルク |
| <input type="checkbox"/> 予備の電池 | <input type="checkbox"/> 常備薬 | <input type="checkbox"/> 簡易(携帯)トイレ |
| <input type="checkbox"/> トイレトペーパー | <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ | <input type="checkbox"/> ブルーシート |

感染症対策用品

- | |
|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 消毒液 |
| <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> スリッパ |
| <input type="checkbox"/> ビニール手袋 |

ローリングストック法

普段の食料品を少し多めに買い置きし、消費した分を補充するローリングストック法を実践すれば、手軽に備蓄に取り組むことができます。生活用品にも応用できます。

その1

普段の食料品を少し多めに買い置き
(保存期間の長いものを)

その2

チェックリストを作成し、賞味期限
を考えながら消費

その3

消費した分を補充



非常持出品のチェックリスト

○年 ○月 ○日 確認

避難する時に持ち出す必要最小限度のものを非常持出袋に入れて、玄関などのすぐに取り出せるところに保管しましょう。

貴重品

- 現金 (10円玉含む)
- 通帳の写し・印鑑
- 運転免許証の写し
- 健康保険証の写し
-

非常食

- 飲料水
- 乾パンやクラッカー
- レトルト食品、缶詰
- ナイフ、缶切り
- はし・スプーン

防災用品

- 懐中電灯
- ライター、ろうそく
- 携帯ラジオ
- ヘルメット
- 笛 (ホイッスル)

必要に応じて用意するものなど

- 携帯電話の充電器
- 予備の眼鏡、補聴器など
- 簡易(携帯)トイレ
- トイレトペーパー
- 生理用品

医療用品

- 常備薬の予備
- 救急医薬品
- ばんそうこう、消毒液
- ウェットティッシュ

生活用品

- ポリ袋
- 新聞紙
- ティッシュペーパー
- ラップフィルム

衣類等

- マスク
- 上着・下着・靴下
- レインコート・防寒衣
- タオル

必要に応じて用意するものなど

- 乳幼児用食品(粉ミルク等)
- おむつ(乳児、高齢者用)
- アレルギー対策食品
- 口腔ケア用品
(歯ブラシセット・洗口液
口腔ウェットティッシュ等)

わが家の
保管場所

●災害発生時に必要となるものは人によって異なります。必要に応じて項目を加えたり、定期的な中身の点検を行いましょ。

災害情報を入手しましょう(1)



防災情報・緊急情報の提供



災害に関する情報を的確に入手することは、自分の身を守る上で重要なことです。最新の情報をこまめに確認して常に状況を把握し、自らの命を守るための行動を優先して行いましょう。



■ 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震発生による揺れの到達時間や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は、数秒から数十秒ほどしかありません。その間に、机の下に入るなど自分の身を守ることを優先して行動しましょう。

緊急地震速報の発表

テレビ・ラジオによる放送



強い揺れが予測された場合に、速報画面が入り、強い揺れが起こる地名などを表示します。警報音が鳴る場合もあります。

エリアメール・防災アプリなど

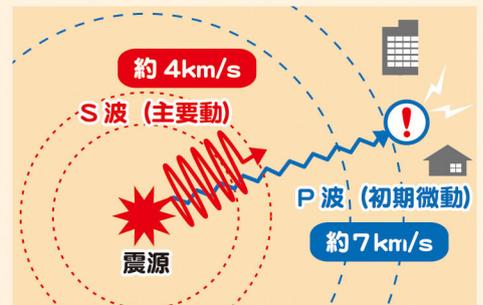


携帯電話各社による速報配信サービスなどがあります。(エリアメールについては、下部で説明しています。)

緊急地震速報のしくみ

地震が発生すると、震源からは揺れが波となって地面を伝わります。この地震波にはP波(初期微動)とS波(主要動)があり、P波の方がS波より速く伝わる性質があります。

強い揺れによる被害をもたらすのは主に後から伝わってくるS波です。緊急地震速報は、この地震波の伝わる速度の差を利用して、先に伝わるP波を検知した段階で、危険が迫っていることをお知らせします。



■ 防災サイレン

日進市では、避難指示等大規模災害などの危機の切迫をお知らせするため、サイレンを吹鳴するスピーカーを市内6箇所に設置しています。サイレンの鳴り方は、右の2種類です。

サイレン音を聞いたら、テレビやラジオなどでその内容を確認し、直ちに身を守る行動をとってください。



このQRコードはサイレン音が視聴できるページに移動します。

＜おもなサイレンの鳴り方＞

風水害、土砂災害時等の避難指示
避難信号

● 3秒の吹鳴と休止を9回繰り返す
ウー→ (休止) ウー→ (休止) ウー→ (休止)
3秒吹鳴 3秒吹鳴 3秒吹鳴

有事に関する情報

・弾道ミサイル
・ゲリラ、特殊部隊
・航空攻撃・大規模テロ

● 14秒の吹鳴と休止を3回繰り返す
ウー→ (休止) ウー→ (休止)
14秒吹鳴 14秒吹鳴

■ エリアメール

エリアメールとは、携帯電話を利用した災害時専用の情報配信の仕組みで、気象庁が配信する緊急地震速報や、国・愛知県などが配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信するサービスです。設定方法や対応機種については、各社ホームページなどをご覧ください。



エリアメール配信内容

- ・高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保
- ・土砂災害警戒情報・緊急地震速報など



■ LINE市公式アカウント・にっしんお知らせメール

警報・避難情報をはじめとする防災に関する情報など市からのお知らせを配信します。

LINE市公式アカウント
登録QRコード
検索ID:@nissin



にっしん
お知らせメール
t-nisshin@sg-p.jp



パソコン・スマートフォン用



フィーチャーフォン用

災害情報を入手しましょう(2)



風水害・土砂災害に
備えましょう



警戒レベルと避難情報

日進市から「警戒レベル③、④」が発令された地域にお住いの方は、速やかに避難してください。「警戒レベル③」で高齢者等は危険な場所から避難を開始し、「警戒レベル④」で危険な場所から全員避難してください。

「警戒レベル」と避難行動・避難情報の関係 ～「警戒レベル」で避難するタイミングをお知らせします～

警戒レベル	取るべき避難行動	避難情報等
警戒レベル⑤ 命の危険直ちに安全確保!	既に災害が発生・切迫している状況です。命を守るための最善の行動を取りましょう。※警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。緊急安全確保の発令を待ってはいけません。	緊急安全確保
警戒レベル④ 危険な場所から全員避難	速やかに危険な場所から避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。※警戒レベル4は、避難指示に一本化され、これまでの避難勧告のタイミングで発令されます。	避難指示
警戒レベル③ 危険な場所から高齢者等避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。※警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難
警戒レベル②	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等
警戒レベル①	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表・発令されるとは限りません。

<雨の強さと降り方(1時間当たり雨量)>

やや強い雨 10～20mm	強い雨 20～30mm	激しい雨 30～50mm	非常に激しい雨 50～80mm	猛烈な雨 80mm以上
雨の音で話し声がよく聞き取れない。この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	どしゃ降り。地面一面に水たまりができる。側溝や下水、小さな川がふれることがある。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようなになる。山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地域では避難の準備が必要。	滝のように降る。水しぶきで一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する可能性が高くなる。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

記録的短時間大雨情報とは 大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために愛知県気象情報の一種として発表するものです。愛知県の場合、1時間に100mm前後の雨を観測したり、解析されたときに発表されます。

<風の強さと吹き方(平均風速)>

やや強い風 10～15m/s	強い風 15～20m/s	非常に強い風 20～30m/s	猛烈な風 30m/s以上
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。樹木全体が揺れ始める。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。看板やトタン板が外れ始める。	何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。樹木や電柱、街灯、ブロック壁が倒れるものがある。

平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風速は地形や廻りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。

<震度と揺れの状況>

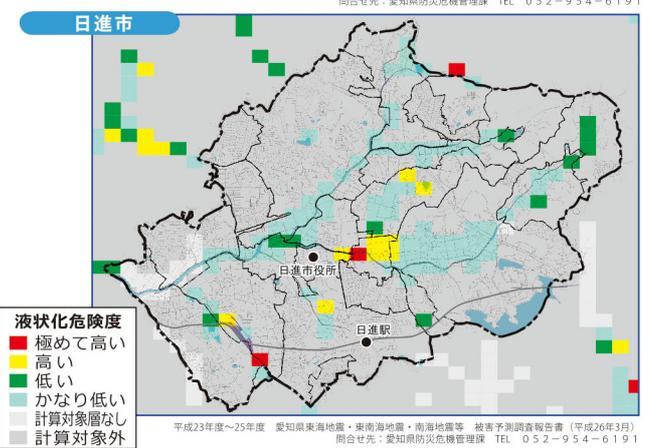
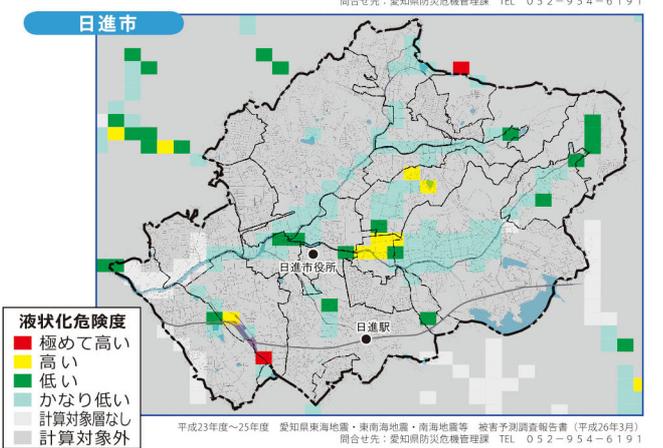
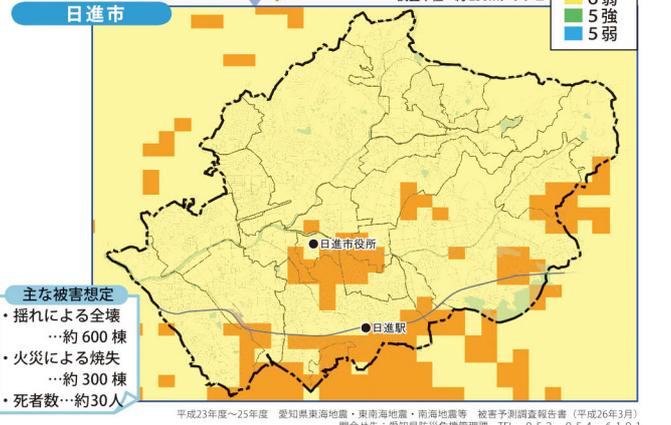
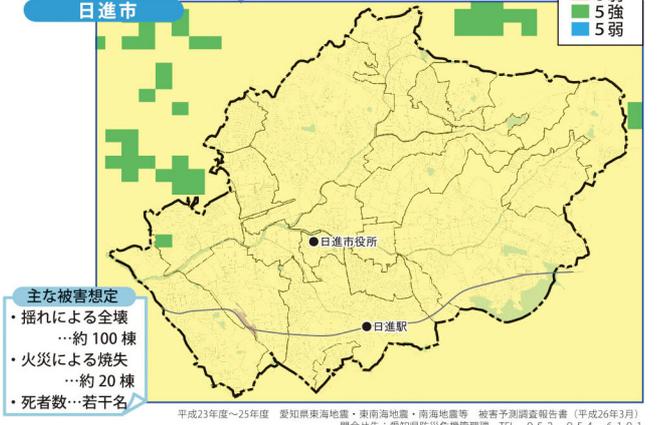
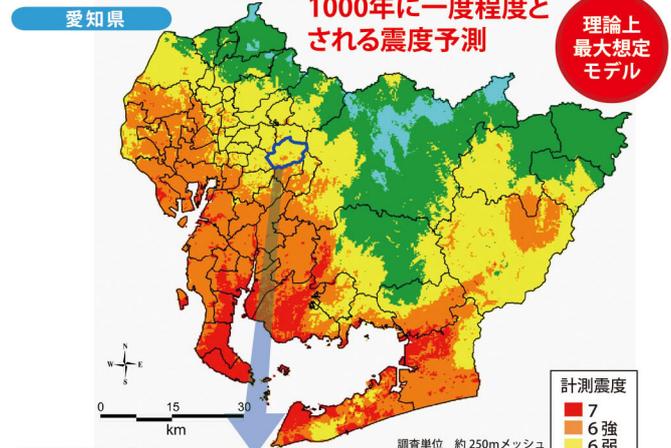
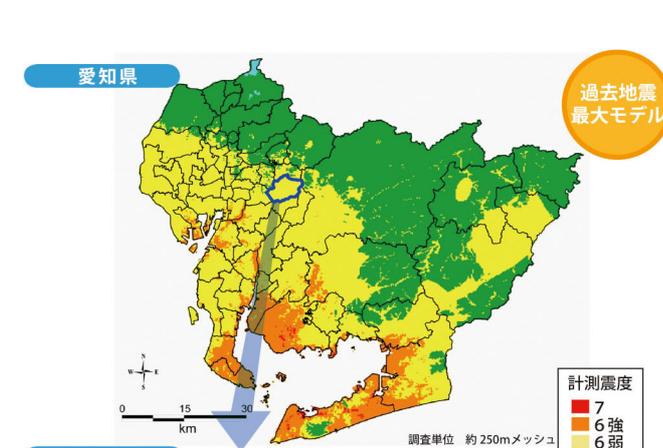
震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
多くの人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。	多くの人が物につかまらないうちと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。棚にある食器類や本で落ちるものが増える。	立っていることが困難になる。固定していない家具の多くが移動し、倒れるものもある。ドアも開かなくなることもある。	立っていることができず、はわないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は傾くものや倒れるものが増える。	耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが増える。耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。

イラスト:気象庁提供

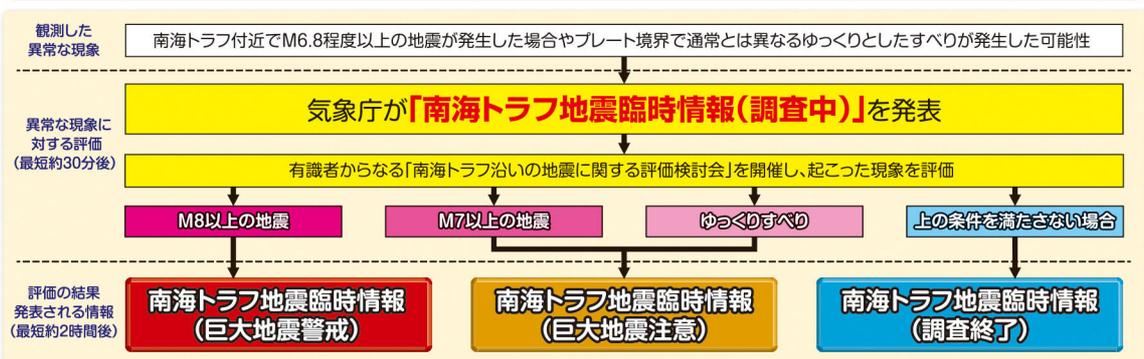
南海トラフ地震の震度予測



東日本大震災を踏まえ、愛知県は平成23～25年度に南海トラフ地震の被害予測調査を実施しました。その中で、過去に発生したことが明らかで規模の大きい宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震を重ね合わせたモデルによる予測結果及び1000年に一度程度とされる震度予測を以下に示します。これらは、今後の地震対策を進める上で軸となるものです。



南海トラフ地震臨時情報発表までの流れ



気象庁ホームページ
南海トラフ地震に関する情報



地震が発生したら・・・



地震に備えましょう



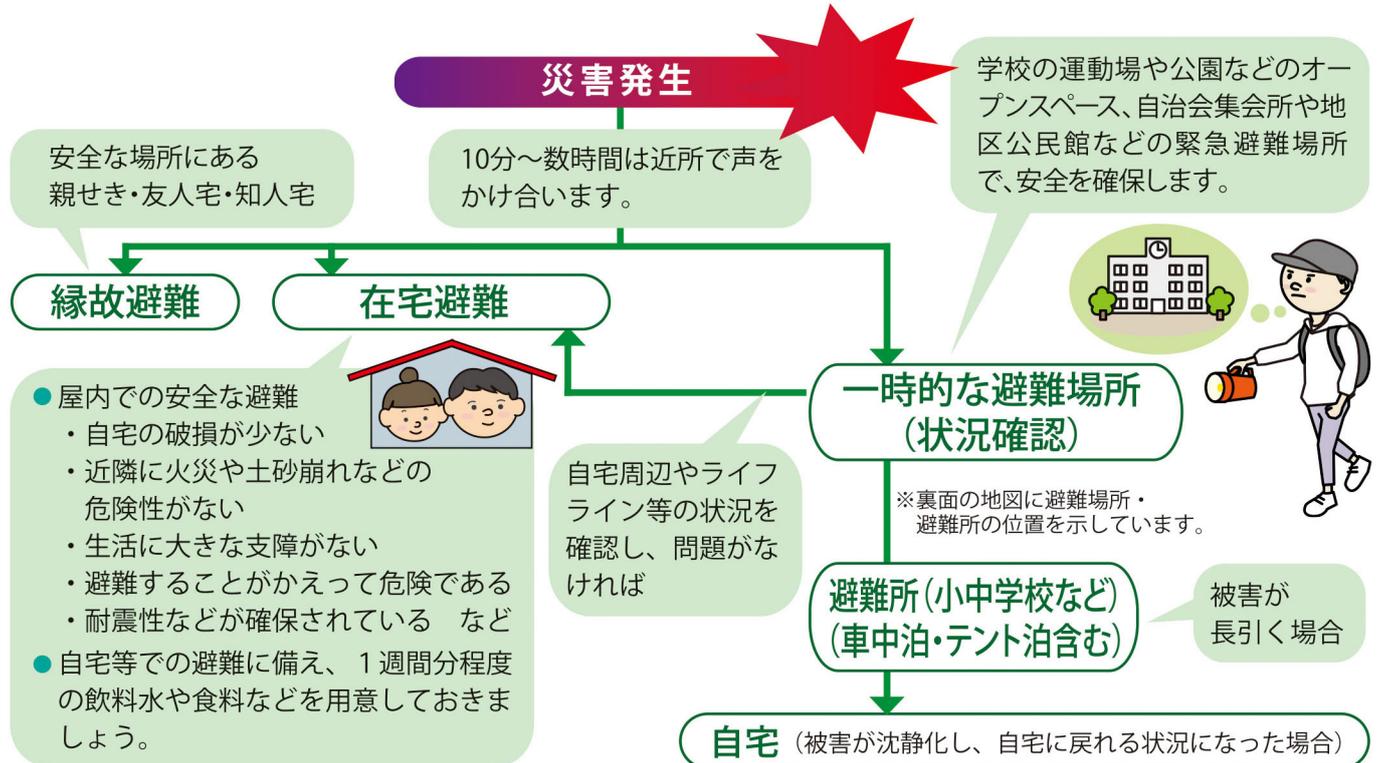
地震が発生したら、まずは落ち着いて自分の身を守るために行動しましょう。自らの安全が確保できたら、隣近所のできるかぎり声をかけ合い、無事であることを確認するようにしましょう。

■ 地震発生！ その時どうする？

地震が発生しても慌てずに自分の身の安全を確保して、揺れが収まるのを待ちましょう。



避難は災害から命を守るための行動ですが、状況によっては、屋外へ避難することがかえって危険な場合もあります。屋内の安全な場所で待避することも、避難行動の一つといえます。



■ 「避難が必要かどうか」を判断しよう！

避難とは「難」を「避ける」ことです。今お住まいになっているご自宅が安全な方は、避難所へ避難する必要はありません。ご自宅の方が安全と思われる場合には、ご自宅に留まる「在宅避難」をしましょう。

避難が必要な場合でも必ずしも市が設置する避難所ではなく、親せき宅、友人宅、知人宅なども避難先としてなりえます。あらかじめ避難所以外への安全な場所へ避難する「分散避難」についても検討しておきましょう。

■ 市内に在勤・在学中に地震が発生した場合

地震の影響による交通機関の運行停止や道路渋滞の発生が起こる可能性があります。

むやみに移動せず、まずは身の安全の確保や災害用伝言サービス等を利用して安否報告や確認をし、状況が落ち着いてから帰宅をするようにしましょう。



家族との連絡先

家族の名前	生年月日	会社名・学校名など	電話番号	血液型

緊急連絡先

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
日進市役所	0561-73-7111	愛知中部水道企業団（上水道）	0561-38-0030
保健センター（救護所）	0561-72-0770	中部電力パワーグリッド（株）天白営業所	0120-929-479
市民会館（救援物資受付所）	0561-72-0955	東邦ガスネットワーク（お客様サポート）	052-872-9238
中央福祉センター（ボランティア受付所）	0561-73-4885	西日本電信電話（株）	113
日進消防署	0561-73-0119		
愛知警察署	0561-39-0110		
名古屋鉄道（株）豊田市駅	0565-32-0336		
名古屋市交通局地下鉄赤池駅	052-802-2264		



わが家の約束事を書き込んでみよう

避難場所や避難所… その他（子どもの引き渡し方法など）…

避難ルート…
（気をつけること等）

災害用伝言ダイヤル（171）の使い方

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により電話が繋がりにくい状況になった場合に開始される「声の伝言板」です。サービスの開始は、テレビやラジオなどで広報されます。体験利用することができますので、使い慣れておくとういでしょう。

体験利用提供日
毎月1日及び15日

正月三が日：1月1日～3日
防災とボランティア週間：1月15日～21日
防災週間：8月30日～9月5日

どなたでもご利用できます。（事前契約等は不要です。）音声案内に従ってボタンを押してください。



災害用伝言ダイヤルに関する問合せ：NTT 西日本 名古屋支店 116